

第1回日ASEAN刑事司法セミナー 捜査共助セッション

「ASEANにおける国際協力の強化：効果的な捜査共助のための新たなツールの活用」

1 日程及び参加者

- 令和6年12月13日（金）から同月19日（木）まで
- 海外参加者10名（ASEAN9か国及びASEAN事務局から参加）

2 セミナー概要

第1回日ASEAN刑事司法セミナー捜査共助セッション（以下「本セッション」という。）では、「ASEANにおける国際協力の強化：効果的な捜査共助のための新たなツールの活用」を主要課題とし、ASEAN各国の捜査共助中央当局及びASEAN事務局から計10名が参加しました。ASEANにおいては捜査共助条約（ASEAN-MLAT）が締結されていますが、近時、犯罪の巧妙化や国際化等を受け、より効果的な捜査共助の実施が課題となっています。これを受けて、UNODC（国連薬物・犯罪事務所）東南アジア大洋州地域事務所（バンコク）とASEAN事務局では、ASEAN-MLATに基づく捜査共助要請書のモデルテンプレートを策定中であるところ、本セッションでは、UNODCと連携し、架空の薬物密輸事案を題材に、最新のモデルテンプレート案を用いた参加国間相互の捜査共助要請書の起案・講評を行うとともに、講義や施設見学を実施しました。

3 講義及び施設見学

（1）講義

本セッションでは、国連アジア極東犯罪防止研修所教官による講義のほか、以下の客員専門家による講義も行い、各講義の後に質疑応答の機会を設けました。

- スコット・シメオン氏
「外国に所在する証拠の獲得」
- 須田 大 氏
UNODC（国連薬物・犯罪事務所）東南アジア大洋州地域事務所（バンコク）刑事司法オフィサー
「ASEAN-MLATに基づく捜査共助要請書モデルテンプレートの策定プロジェクトについて」

（2）施設見学

東京地方検察庁

4 研修参加者からのフィードバック等

セミナー参加者からは、近く採択見込みのモデルテンプレート案を用いた起案や、起案前後の相互の情報交換やフィードバックを初めとする実務的なカリキュラムについて、肯定的な意見が多く寄せられたほか、モデルテンプレート案についても率直な意見交換がなされました。引き続き、参加者からのフィードバックを踏まえつつ、より良いセッションのあり方を検討していきます。

5 担当教官の所感

ASEAN-MLATモデルテンプレートについては、ASEAN関連会合での採択が目指されているところ、本セッションにおいては、各国で捜査共助に携わる若手・中堅の実務家の参加を得て、同テンプレートの試案を用いた模擬事例の起案と意見交換を行うことにより、モデルテンプレートの策定に寄与するとともに、ASEAN地域における薬物不正取引やマネーロンダリング等の国際組織犯罪対策の取組に貢献することができました。

本セッションにおける参加者の経験や各国中央当局実務家間の人的ネットワークが、ASEANにおけるより効果的な捜査共助の実施に資することとなれば幸いです。

以 上